



ロータリー:
変化をもたらす

相模原大野ロータリークラブ

- ◆会 長:笠井 透 ◆幹 事:角尾 彰央 ◆会長エレクト:座間 勇
 ◆S A A:布野 一喬 ◆会報委員:宮崎雄一郎 ◆URL:<http://www.s-oono-rc.jp>
 ◆事 務 局:〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX:042(755)0901
 ◆例 会 場:相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
 ◆例 会 日:毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail:oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

平成 30 年 2 月 21 日 第 1166 回例会

会長の時間:座間勇

2 週連続で現・次会長幹事会が同じ場所であり、AG の進め方一つで、雰囲気随分違ふと感じました。菅原 PG がよく「ロータリーは親睦と奉仕だ。」と、仰っていましたが、まずは、例会を楽しくしなさいと言う事だと思います。人と人の繋がりや“縁”で、それを感じる出来事がありました。ロータリーも、グループ、地区と広がりが増えていきますので、ロータリーを楽しみ、会員増強に繋げて頂きたいと思ひます。

幹事報告:座間勇

例会変更 ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

2/26 (月) 相模原柴胡※ /2/27 (火) 相模原南

その他来信 ハイライトよねやま 215 号

週報受領 相模原グリーン

《理事会報告》

* 2/28 は通常例会

* 3 月のプログラム確認 (クラブ HP でご確認下さい)

* 川井彦策氏を名誉会員にする件 (西 RC と相談)

* 名誉会員への送付物 (雑誌類・週報・記念品) は廃止

卓話:平和と紛争予防/紛争解決月間に因んで



布野一喬 会員

平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェロシップ(奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。紛争について調べると、世界中に沢山の紛争地帯があります。日本は何て平和なのかと思ひますが、竹島問題・北方領土問題も紛争であり、北朝鮮も日本の脅威です。人が亡くなる事態にはなっていませんが、世界中では多くの犠牲者を出しています。宗教を原因とした紛争というよりも、宗教を土台にして引き起こしている利権者がいるのかなと感じました。昨年 12 月、トランプ大統領が聖都エルサレムをイスラエルの首都と認定し暴動が起きました。紛争地帯に住む人は約 23 億 3 千万人と言われ、犠牲者の 9 割が武器を持たない民間人です。

平和に対する研究の重要性を知り、更に進めて行かなければならないと感じました。紛争も、民族間によるもの、独立・分離問題、国際問題と多種多様で、アメリカ軍による規模の分類では、国家総力戦や核戦争の記述もあり、紛争の先には戦争があり、世界大戦まで発展する可能性も 0 ではないと思ひました。今回、イスラエルの歴史的背景を調べるのに最も時間が掛かりましたが、パレスチナ紛争を時系列で纏めてみました。イスラエル王国は元々ユダヤ教の国です。紀元前 586 年(2500~2600 年前)には新バビロニアによって征服されます。その後、勢力を伸ばしたローマ帝国によって征服され、キリスト教が入ってきました。614 年にはペルシャが侵攻、636 年にはイスラム帝国が占拠し、600 年代には 3 つの宗教が入り混じり、この地域のエルサレムという場所は 3 宗教(ユダヤ・イスラム・キリスト)の聖地となりました。これがイスラエル、パレスチナ問題の出発点です。キリスト教徒は 11 世紀後半に十字軍を遠征させ、聖地奪還を目指しますが失敗、16 世紀にはイスラム教のオスマン帝国がこの地域を支配し、エルサレムをパレスチナに変更し、パレスチナ紛争に変わりました。1900 年代になると、イギリスはアラブ人に対して「イギリス軍に協力するなら君達の国家を創るのに協力する」と持ち掛けます。その一方で、ユダヤ人の金融資本家から資金提供を受ける為に「お金を出すならユダヤ人の国家を創るのに協力する」と矛盾した約束をしました。酷い話です。結局、イギリスは双方を裏切り、パレスチナを委任統治領としました。ただ、ユダヤ人を優遇していたので 1920 年代には少しずつユダヤ人が増え、1930 年代になると、ドイツのナチスが力をつけユダヤ人を迫害した事などが原因で、ユダヤ人の移住が年間 20 万人に急増し、民族間の対立が深まりました。第二次世界大戦後、イギリスがパレスチナにおける治安維持能力を失い撤退するとこの地を国連に丸投げしました。国連によって「パレスチナ分割案」が出ましたが、水利が整っている地域はユ



R 財団
P・H・F
3 回目
宮崎会員

ダヤ人に、荒地はアラブ人という、ユダヤ人に有利な案でした。当時の米国大統領トルーマンが、大統領選に重要な地域に住むユダヤ人の組織力・投票率を得る為に後押ししたと言われていました。国連分割案に沿って1948年にはイスラエル国が独立宣言されますが、怒ったアラブ人が近隣のアラブ諸国の力を借り、イスラエルへと乗り込みます。これが第一次中東戦争(パレスチナ戦争)です。この時にエジプトが攻め込んだのが今の「ガザ地区」、ヨルダンが攻め込んだのが「ヨルダン西岸地区」で、現在のパレスチナ自治区とされている場所です。この戦争は米国の支援もあり、イスラエルが勝利しましたが、イスラエル占領から20年後の1987年、ガザ地区、ヨルダン川西岸地区のパレスチナ人の青年達が、武装したイスラエル軍に対して石を投げて抵抗しました。世界の同情を集め、1993年にパレスチナ暫定自治協定が結ばれました。イスラエル軍は出て行けと言う命令に、ユダヤ人からは当然のように反発の声が上がり、調印したイスラエル首相ラビンが暗殺されました。その後、イスラエル軍とユダヤ人の多くは、ガザ地区から出て行く事になり、ヨルダン川西岸地区では、現在もユダヤ人の人口は増えている傾向にあります。最近のパレスチナ問題ですが、2014年6月にヨルダン川西岸地区で、ユダヤ人少年3人の遺体が発見され、7月上旬に今度は東エルサレムでアラブ人(パレスチナ人)の16歳少年が殺害されました。これにより「ユダヤ人少年の殺人にはパレスチナ人が関わっている！パレスチナの少年殺害はユダヤ人による報復だ！」と怒りが連鎖し対立が起きました。ガザ地区を支配しているイスラム原理主義組織ハマスは、イスラエルへの攻撃を急拡大し、ハマスの拠点であるガザ地区へイスラエルも攻撃に出ました。しかし、紛争の本当の理由は経済的な不満だと言います。ハマスの友好関係にあったエジプトのモルシ政権がクーデターで倒れ、ガザ地区の経済は一気に追い詰められました。ハマスは停戦の見返りに経済的利得を得ようとした様です。イスラエル側もハマスへの攻撃と言い乍ら、ガザ地区への空爆、地上戦により多くの民間人を巻き添えにしています。イスラエルの隣国シリアでは内戦が続き、パレスチナの混迷は中東地域の紛争の火種にもな

娘をユダヤ人のクシュナー氏と結婚させ、娘をユダヤ教に改宗させたのも票を取る為で、トルーマンと同じ事をし、歴史は繰り返されていると思いました。最大の問題は、この地域がアジア・アフリカ・ヨーロッパの交通の要所であることで、この地域を支配し利権を得ようとしているのではないかと思います。紛争解決は物凄く大変な事です。2010年平和フェローの金子由佳さんはパレスチナに駐在し、危険な地域で奮闘しています。ロータリーが関わり、奨学金を出して人材育成し、平和推進者の世界を作ろうとしている事に大きな意義を感じます。紛争地域への薬や物資の供給にも力を入れています。3日前、WHOはシリアの医薬品不足が危機的状況と声明を出しました。コンゴ民主共和国出身のエイドリアン・ロカンガカさん(2012-14年規制)は、紛争後の深刻な医薬品不足を訴えています。紛争は、土地と水の取合いが要因になる場合があり、2017年ですら、6.6億人が安全な水を確保できていません。R財団の6つの重点項目に“水と衛生”があります。日本は“水”に関しては進んでいるので、貢献できる可能性は高いと思います。他にも、教育水準(識字率)向上、経済発展等、ロータリーの重点項目は、紛争解決に大きな役割を果たすと思いました。ムヤトワ・シタリさん(2012-14年規制)は、綺麗な水へのニーズがいかに深刻で、広範囲に渡るものかを知り、「水と衛生設備を提供しても、平和が約束される訳ではない。でも、紛争の原因となる人々の不満を和らげる事はできる」カンボジアのユニセフ事務局責任者を務めるパス・ヘアンさん(2002-04年季賞)は「今、大きな責任を伴う仕事ができるのも、ロータリー平和フェローとして分析力を磨き、必要なスキルを身につけたから。カンボジアの貧しい人々の為に政策を変えられる様活動していきたい」ハンナ・シュバートさん(2016-18年期生)は、「フェロシップは単に、大学院で学ぶ為の寛大な奨学金が貰えるというものではない。それ以上に特別なのは、国際的なネットワークを築き、研修とキャリアサポートを受け乍ら、世界中の一流プロフェッショナルと出会えること」と、夫々言っています。創設から約10年、ロータリー平和センターは毎年100人、延べ1,000人の人材を輩出し、警察・報道・法律・国連・銀行等多方面で活躍していることを知りました。

出席報告

なりかねません。トランプ大統領が

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率	修正出席率
13名	1名	8名	4名	1名	3名	66.67 %	2/7 75.00 %